



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

931 2025年9月14日

日本共産党荒川区議会議員団

区役所控室 3802-4627

横山事務所

荒川区町屋5-3-5

&fax 3895-0504

定例法律相談

10月6日(月)

18時~20時

横山区議事務所

お気軽にご相談を

2024年度
決算は…

2025年度荒川区議会9月会議がはじまりました(9/11~10/8)

物価高騰から暮らしを守り 差別・排外主義を許さない荒川区へ全力

荒川区の財政状況について(普通会計 単位:千円)

	歳入決算	歳出決算	剰余金 (千円)	財政調整基 金取り崩し
2024年	124,955,143	121,687,800	3,267,343	2,471,781
2023年	121,634,099	117,399,254	4,234,845	4,511,525
2022年	114,036,881	108,856,699	5,118,769	0
2021年	112,983,666	108,027,961	4,904,272	0

区長提出議案一覧

	議案	内容
総務企画	荒川区議会議員・荒川区長の選挙運動の公費負担条例の改正	公選法改定による選挙公費負担分の引き上げ(ピラポスターなど)
	2025年度一般会計補正予算	基金に決算剰余金など19億7千万円積み立て
	2025年度国民健康保険特別会計補正予算	剰余金4億1千万円の精算
	2025年度介護保険特別会計補正予算	剰余金6億3千万円の精算
	財産の所得	児童生徒用机、椅子の購入592台
	町屋地区(4丁目付近)ふれあい館建設、電気、機械各工事契約	町屋3丁目に建設するふれあい館の工事契約 2027年10月末まで
	特養ホームグリーンハイム大規模改修工事、電気、機械各工事契約	グリーンハイム大規模改修の工事契約 2027年5月末まで
	南千住浄水場跡地の建物解体工事契約	取得した土地にある建物解体
	都市計画道路補助331号線関連工事契約	常盤線・TXの道路関連工事契約
文教	学童クラブの運営に関する条例の改正	峡田小増設校舎に学童クラブ設置、土曜の延長保育も可能に
	区立はなみずき保育園の指定管理の指定	(株)こどもの森を指定
	障害者日常生活、社会生活支援など条例改正	法改正に伴う規定の整備
福祉	南千住ふれあい館の指定管理の指定	(株)日本デイクアセンターを指定
	荒木田ふれあい館の指定管理の指定	(株)大機エンゼルヘルプを指定
	西尾久ふれあい館の指定管理の指定	(株)日本デイクアセンターを指定

2025年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の4つの決算は、決算に関する特別委員会で審議されます

32億円の剰余金…区民の暮らしを支える財源はあります
エアコン設置、電気代補助など緊急の支援策を
荒川区の2024年度決算を審査する区議会が9月11日から始まりました。
昨年度決算は…
区の決算状況は、歳入1249億円、歳出1216億円で差し引き32億円の黒字。しかし、三河島駅北再開発の権利変換での区の出約14億円を次年度に繰り越すため、実質黒字18億円となります。
ここでも1億円を超えるタワマン建設中心の市街地再開発への税投入の影響が出ています。
本来なら少なくとも「黒字分」の一部は、深刻な物



物価高騰から暮らしを守るため
に振り向けることが十分可能な財政状況です。

価高騰から区民の暮らし応援に振り向けるべきです。
2年連続基金取り崩し?…心配無用
もう一つの特徴は、2年連続で合計70億円超の財政調整基金を取り崩していることです。しかし、使ったのは、南千住浄水場跡地と宮前公園用地の取得費60億円、残りも密集市街地整備用地購入などです。区の説明では、いずれも全額が4年間で都区財政調整交付金の「特別枠」で戻ってくるようです。

補正予算の中身は「基金積み立て」だけ
物価高騰・猛暑から命を守る支援が必要

今議会に提出されている一般会計など3つの補正予算は、いずれも決算で出た「剰余金」を基金=貯金に積み立てるものです。しかし今夏の異常な猛暑、一層ひどくなる物価高騰などによる区民生活への影響は深刻になるばかりです。それへの対策の検討は

町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(57) 23区で進む地域公共交通計画策定…荒川区は?

この23区では、多くの区が「地域公共交通計画」を策定しています。現時点で、策定していない区は、新宿、文京、台東、渋谷、そして荒川区です。豊島と江東両区は、現在策定作業中のようなので、また、未策定の文京、台東両区は、区が補助して区内循環のコミュニティバスを走らせ、そのための調査実施や区内交通計画を持っています。

こうみると、ほとんど区が、地域内交通の調査など実施、計画を持っていることが分かります。

ところが荒川区は、「地域公共交通計画の策定は考えていない」の一点張りです。今後日本共産党区議団としても23区全体の計画策定の内容と、その後の交通不便地域解消への取組など調査し、区に検討を求めています。みなさんのご意見をお寄せください。



まちの顔あれこれ

町屋駅近くの三菱ビルテクノ社屋の解体工事完了
こんなに空が広いんだ…でもまたタワマン建設なの?
あつたものがなくなる…すると景色が変わります。町屋駅前の三菱ビルテクノの社屋解体がほぼ完了。晴れた日曜の昼、その場所を通りかかると大きく広がった青空が見え、飛び込んで来ます。これまでになく、空が空々しく、なんとも前になんか、心にさすような感じがします。問題はこの跡地に何が建つのか、またタワマンか。それで地価も周辺家賃も上がり、庶民が住めない街になっていくのか?まちづくりのあり方

を根本から問うつかの間の景色のような気がしました。

横山幸次



【来年度からのがん検診の料金】

肺がん	胸部 線検査 ...	400円
	喀痰検査 ...	300円
大腸がん	便潜血検査 ...	300円
胃がん	胃部 線検査 ...	1,000円
	内視鏡検査() ...	1,000円
乳がん	乳房 線検査 ...	800円
子宮頸がん	頸部細胞診 ...	600円

胃がん内視鏡は現在も有料

区が「がん検診」有料化の料金を発表！ このまま有料化にしてよいのか？区民の声は？

がん検診無料の区は...
千代田、中央、港、文京、台東、目黒、渋谷、豊島、江戸川、葛飾

有料化で検診率はどうなる…健康格差も心配
区民の健康と命を守るためにも再考を求めます

荒川区は、来年度からのがん検診有料化に向け、各検診の料金設定を発表しました。診療報酬の1割を基本として、肺がん・大腸がんは300円・400円、胃がんは1,000円、乳がん・子宮頸がんは800円・600円（左表）となっています。ただし、生活保護世帯は無料とする方針です。

日本共産党区議団が今年4月に行ったアンケートでは、有料化に「反対」が8割、「有料で」も示されています。

荒川区とは逆に、葛飾区は今年度からすべて無料にしました。23区中10区ががん検診を完全無料化して

り、原則有料でも一部無料にする区もあります。物価高騰の中での有料化は、健康格差が広がりがねません。

有料化・委託化の検証を
区は有料化とともに、2027年度で区立がん予防センターでの検診を終了、医療機関へ委託するとしており、「委託費などもあり有料化しても区の負担が減るものではない」としています。身近な医療機関で検診が実施され受けやすくなる一方、有料化で受診を控える場合もあり、引き続き受診率の推移をよく見て、委託化・有料化の影響を検証すること



区内全域で10月からプラスチックは別回収に

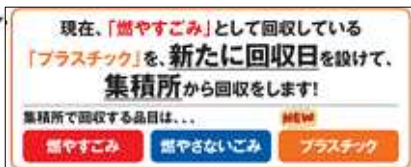
10月から収集方法が変更

プラマークのついているプラスチック「容リプラ」とプラマークはないが、プラスチックのみで出来ているプラスチック「製品プラ」は燃やすごみに入らずに、プラ回収日に資源として、プラスチックのみを、中身の見える袋に一つにまとめて出してください。

汚れている箇所を水で軽くすすぐか、拭き取ってください。汚れが落とせない場合は、燃やすごみでお出し下さい。

ペットボトルやびん缶、食品トレーは今まで通り、資源回収日に出してください。

すでに町屋2・3・4丁目と町屋の一部集合住宅では、廃プラスチックの回収を行っています。この間の取組の成果などの検証も合わせて必要です。



町屋地区の回収日

1丁目	土
2～7丁目	木
8丁目	土

今週のデータ 労働分配率は過去最低…責任は自公政権と財界・大企業

（経常利益、賃金、減価償却費、支払利息の合計を分子に、賃金を分子に算出）は、統計でさかのぼれる64年間で最低になっています。利益が増え、賃金に回っていません。

労働分配率は過去最低

【出所】財務省「法人企業統計」：資本金10億円以上の大企業（金融保険業を除く）の労働分配率。※統計でさかのぼれる64年間で労働分配率は過去最低。



2024年度の「法人企業統計」によると、大企業の経常利益・配当金・内部留保は過去最高です。ところが、労働分配率（経常利益、賃金、減価償却費、支払利息の合計を分子に、賃金を分子に算出）は、統計でさかのぼれる64年間で最低になっています。利益が増え、賃金に回っていません。

外国人などではなく、国民の貧乏化を進めてきた自公政権と強欲な大企業・財界ではないでしょうか。

9月28日 荒川区の教育を考える せひご参加ください！ タウンミーティングを開催します…



学校施設建替え計画中間報告が荒川区から示されました。建替え計画とともに小規模校の「適正配置」、小中一貫校の新設、公共施設との複合化、学校プールのあり方、特別支援学級の増設、全小学校に学校内学童設置なども示されています。30年スパンの計画ですが、今後の公教育のあるべき姿が問われています。

専門家のお話をうかがい、区民の皆さんと一緒にこれからの教育を考えるイベントを計画しました。参加

は無料です。ぜひご参加ください。

日時:2025年9月28日 日曜日 午前10時～12時

会場:ふらっとにっぽり3階多目的スペース
(荒川区東日暮里6-17-6)

主催:日本共産党荒川区議団

